

公立大学法人名古屋市立大学第四期中期目標（案） に対する市民意見の概要及び市の考え方

「公立大学法人名古屋市立大学第四期中期目標（案）」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

皆様からお寄せいただいたご意見と、それに対する市の考え方を公表いたします。

なお、ご意見のうち、原文を一部要約、または分割等して掲載しておりますので、ご了承ください。

令和5年9月 名古屋市

実施結果

1 実施期間

令和5年7月12日（水）から同年8月10日（木）まで

2 提出状況

意見提出者 15人

意見数 36件

3 提出方法

電子メール 15人

4 意見の内訳

1 第四期中期目標（案）の前文に対するご意見 2件

2 第四期中期目標（案）の各項目に対するご意見

(1) 中期目標の期間に対するご意見 1件

(2) 教育に関する目標に対するご意見 7件

(3) 研究・産学官連携に関する目標に対するご意見 3件

(4) 社会貢献に関する目標に対するご意見 2件

(5) 附属病院群に関する目標に対するご意見 1件

(6) 国際化に関する目標に対するご意見 5件

(7) 業務運営の改善及び効率化に関する目標に対するご意見 1件

(8) 財務内容の改善に関する目標に対するご意見 1件

(9) その他の業務運営に関する重要目標に対するご意見 5件

3 その他のご意見 8件

1 第四期中期目標（案）の前文に対するご意見（2件）

市民意見の概要	市の考え方
・「全ての市民が誇りに思う愛着の持てる大学」と「世界をリードする魅力ある大学」が一致していないように読める。第四期中期目標期間中に目指す姿にどれだけ近づけるかわかりづらい。	市立大学では、「世界をリードする魅力ある大学」をめざし、全学が一体となって教育・研究・社会貢献・医療に取り組むことで、「全ての市民が誇りに思う愛着の持てる大学」として活動していくものとしております。
・市立大学へのイメージで最初に思い浮かぶのは病院なので、基本的な考え方に医療のことが入ったことでより今後の医療技術の発展が期待できるようになっていいと思う。	市立大学では、5つの附属病院を有し、高度急性期から慢性期まで幅広い医療を提供できる体制が構築されております。 中期目標においても、附属病院群が連携し、高い倫理観と優れた技術・見識を有する医療人の育成や臨床研究の推進について掲げております。 いただいたご意見を参考にしながら、中期目標の達成に向け努めてまいります。

2 第四期中期目標（案）の各項目に対するご意見

（1）中期目標の期間に対するご意見（1件）

市民意見の概要	市の考え方
・評価指標は可能な限り中期目標の大項目の達成状況を総合的に把握でき、かつ、大学設置基準のほか THE（タイムズ・ハイヤー・エデュケーション）世界大学ランキングなどの指標も踏まえつつ、中期目標だけでなく常に大学が競争力強化のため取り組むべき課題を的確に把握できるものを設定すべきと思う。	評価指標につきましては、地方独立行政法人法の改正を踏まえ、中期計画の達成状況を可視化し、適正な業務運営を担保する観点から設定するものでございます。 いただきましたご意見は、大学にもお伝えし、今後の評価指標を検討する中での参考とさせていただきます。

(2) 教育に関する目標に対するご意見 (7件)

市民意見の概要	市の考え方
・マンネリ化した教育ではなく、時代に合った教育をする、という意気込みを感じる目標だと思う。常に新しい教育手法を研究し、レベルの高い人材を育ててほしい。 ・市立大学の総合生命理学部は他大学の同学部に比べ教員が少ないため授業科目数が少ないと聞く。理系人材のニーズに対応するため、専門的・体型的な教育プログラムが実現するよう、教員数を増やし授業や研究室の選択の幅を増やしてほしい。	中期目標には、新たな時代を見据えた特色ある教育のあり方について常に検証・検討し改善を進めることにより、教育実施体制の充実・強化に迅速に取り組む、と掲げております。 具体的な取り組みについては、中期目標を達成するため、今後市立大学が策定する中期計画の中で定めることとしております。 いただいたご意見を参考にしながら、中期目標の達成に向け努めてまいります。
・英語の授業のレベルが学生の能力に対して低い。グローバル人材育成のためには、授業のレベルを上げてより充実させる必要があると思う。	市立大学では、より質の高い高等教育を提供するため、教育方法等を改善するための組織的な研究・研修などに取り組んでおります。 いただきましたご意見は、大学にもお伝えし、今後のカリキュラムの見直しをする中での参考とさせていただきます。
・学生の就職支援体制を強化してほしい。市立大学の学生は充実した教育環境で育った優秀な人材が多いと感じる。その力を社会で発揮すべく学生へのキャリア支援強化をお願いしたい。 ・受験生が進学先を選択する上で、先輩方の就職実績が検討材料として重視されると思う。優秀な受験生から選ばれる名市大ブランド確立に向け、新学部が設立された今、特にこれからの数年間は就職支援に力を入れて頂きたい。実績ができればその後は優秀な学生が集まる良い連鎖が続く可能性がある一方、その逆もあり得るため。 ・ゼミ単位での産学連携を財政面、人員面で積極的に支援し、データサイエンス人材を必要とする各種民間企業とのパイプを作り、同学部が優秀な人材を輩出する機関であると業界内に定着させるよう働きかけて頂きたい。	市立大学では、キャリア支援センターを設置し、専門員が学生からの相談に応じるほか、各種ガイダンスやセミナー等を実施しております。 中期目標においても、大学での学びを活かし、学生自らがキャリア形成に取り組めるよう支援する、と掲げております。 具体的な取り組みについては、中期目標を達成するため、今後市立大学が策定する中期計画の中で定めることとしております。 いただいたご意見を参考にしながら、中期目標の達成に向け努めてまいります。

・留学生については、授業料減免が日本人学生と同じ基準が適用されているようだが、家計支持者の所得把握ができない点において、日本人学生と公平性を欠いているように思われる。むしろ、留学生については、経済環境に関係なく、国費留学生にも準ずるような優秀な学生に対し、入学金も含めた授業料減免制度とし、将来の国・都市のリーダーが市立大学で学ぶような戦略的な観点で制度改正をすべきと思う。	市立大学における留学生の授業料減免の審査につきましては、国内に扶養者がいない場合、留学生独自の審査基準を用いて審査しております。 いただきましたご意見は、大学にもお伝えし、多様なニーズに応じた学修・生活支援を行う中での参考とさせていただきます。
--	--

(3) 研究・産学官連携に関する目標に対するご意見（3件）

市民意見の概要	市の考え方
・名古屋大学に負けないよう、研究部門にも力を入れてもらいたい。将来、市立大学の教授、学生からノーベル賞を受賞するような方が出てくることを期待します。	いただきましたご意見は、大学にもお伝えし、今後の先端的な研究を推進する中での参考とさせていただきます。
・スタートアップ企業が成功しやすい街として、市立大学の役割が求められてくると思う。なごのキャンパスやステーションAi等と連携を密にし、学生とベンチャー企業が交流できる機会が多い環境づくりも大事になると思う。	中期目標には、産学官連携を活かし、知的財産の活用の活性化、アントレプレナー（起業家）支援及び大学発スタートアップの支援の強化に取り組むことで、研究成果の効果的な社会還元を図り、イノベーションの創出を推進する、と掲げております。
・起業家を増やすだけでなく、ベンチャー企業の成長を人材面で支えていくことも大事であり、市立大学の卒業生のベンチャー企業への就職率を上げることで、日本一スタートアップしやすい街を支えていく事が求められる。	具体的な取り組みについては、中期目標を達成するため、今後市立大学が策定する中期計画の中で定めることとしております。 いただいたご意見を参考にしながら、中期目標の達成に向け努めてまいります。

(4) 社会貢献に関する目標に対するご意見（2件）

市民意見の概要	市の考え方
大学が地域や社会のために取り組みを行っていることを知らなかった。SNSを活用するなど、より広報を進めるとともに名古屋市の知名度を上げたり、市民のために教育や研究を進めてほしい。	市立大学では、地域課題等への貢献や教育研究成果の還元といった社会貢献に取り組んでおります。 いただきましたご意見は、大学にもお伝えし、今後の大学運営の中で参考にさせていただきます。
大学によるリスクリングの取り組みが期待され、目標にも関連する記載はあるものの、従来の市民公開講座や医療関係者への教育プログラムの範疇を出ないことが懸念される。例えば、データサイエンス学部 of 教員組織を中心とした大学院課程での社会人向けDX人材育成プログラムや、経営者養成のためのMBAコースなど、高校新卒者向けだけでなく社会人の学び直しに大学として本格的に取り組むべきことを「教育に関する目標」において明記すべきである。	中期目標では、リスクリングや学び直しについて、生涯にわたる学修の機会の提供として、「社会貢献に関する目標」に位置付けております。 具体的な取り組みについては、中期目標を達成するため、今後市立大学が策定する中期計画の中で定めることとしております。 いただいたご意見を参考にしながら、中期目標の達成に向け努めてまいります。

(5) 附属病院群に関する目標に対するご意見（1件）

市民意見の概要	市の考え方
- 今後、さらに少子高齢化が進み、医療を必要とする方が多くなると思う。市立大学は医学部と看護学部があるので、医療に携わる方々の育成、確保をお願いしたい。 - さらに市立大学を卒業した医師の方や看護師の方が名古屋市内の医療現場で活躍してくれるとさらに嬉しい。	中期目標では、附属病院群が連携し、日々進化する医療に対応できる高い倫理観と優れた技術・見識を有する医療人を育成する、と掲げております。 具体的な取り組みについては、中期目標を達成するため、今後市立大学が策定する中期計画の中で定めることとしております。 いただいたご意見を参考にしながら、中期目標の達成に向け努めてまいります。

（６）国際化に関する目標に対するご意見（５件）

市民意見の概要	市の考え方
・市立大学は THE（タイムズ・ハイヤー・エデュケーション）世界大学ランキングにおいて、1201～1500 位、日本では 47 位であるが、国際性のスコアが低い。世界中から優秀な学生を集め、留学生比率を上昇させ、地域や社会、世界に貢献していく大学を目指してほしい。アメリカ、イギリスやフランス等に情報収集や優秀な人材確保のため、海外拠点の構築を広げてほしい。 ・留学プログラムが少なく、他の大学に比べて魅力に欠けるように思う。市立大学の学生が留学する機会も増やしていくことも大事だと思う。 ・海外の大学や留学生との交流の機会を増やし、より国際的な大学になればいいと思う。 ・国際性を向上させる取り組みとして、留学生と日本で入学した学生が一緒に暮らせる寮の整備があると面白いと思う。 ・「第 5 国際化に関する目標」が唐突。前文からの論理的な流れがない。	中期目標では、留学生を受け入れる環境や支援体制の整備、学生の海外派遣の支援・促進や留学生との交流機会の提供に関することを掲げております。 具体的な取り組みについては、中期目標を達成するため、今後市立大学が策定する中期計画の中で定めることとしております。 いただいたご意見を参考にしながら、中期目標の達成に向け努めてまいります。
	「国際化に関する目標」については、前文に掲げた教育・研究・社会貢献・医療の活動の様々な部分に係る内容となっております。

（７）業務運営の改善及び効率化に関する目標に対するご意見（１件）

市民意見の概要	市の考え方
・DX は効率化のためではない。デジタルでの効率化であれば、デジタイゼーションやデジタルライゼーションの範囲である。	国の自治体 DX 推進計画では、DX を推進するにあたり、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術や AI 等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくことが求められています。 市立大学の DX 推進においても同計画に倣い、業務の効率化等に努めることとしております。

(8) 財務内容の改善に関する目標に対するご意見（1件）

市民意見の概要	市の考え方
・財務目標は、事業として収益に直接結びつくものと、長期的な成長のための投資と明確に区別した目標を設定すべき。	中期目標では、財源の確保や効率的な活用に関する目標を掲げており、市立大学の成長に向けた投資については各項目の中で取り組むこととしております。 具体的な取り組みについては、中期目標を達成するため、今後市立大学が策定する中期計画の中で定めることとしております。 いただいたご意見を参考にしながら、中期目標の達成に向け努めてまいります。

(9) その他の業務運営に関する重要目標に対するご意見（5件）

市民意見の概要	市の考え方
・市大は周辺の大学に比べて校舎が古すぎる。教育レベルが高くてもキャンパスに魅力がなければ今の学生は他を選択してしまう。私立大学並みにすることは難しくても、ある程度形は整えておくべきではないか。	中期目標では、魅力あふれるキャンパスの再編整備、施設や設備の整備・改修に関することを掲げております。 具体的な取り組みについては、中期目標を達成するため、今後市立大学が策定する中期計画の中で定めることとしております。 いただいたご意見を参考にしながら、中期目標の達成に向け努めてまいります。
・市内だけでなく全国の方から市立大学で学びたいと思ってもらえるよう、キャンパスの再整備などハード的な整備を進め、魅力ある大学にしていってほしい。	
・桜山キャンパスと滝子キャンパスが古い。キャンパスが綺麗であることは、志望校を選ぶ受験生にとっては非常に大きな意味を持つ。	
・高校生、浪人生が入学したいと思う大学は関連病院の大きさでも、SDGs への取り組みでもない。勉強しやすい環境を整えることで人気上がり、結果として優秀な学生が集まり大学の価値も高まる。主体となる学生の環境を整えることを最優先していただきたい。	

・大学のブランド、価値が傷つく不祥事などが起こらないよう学生に対するコンプライアンス研修の実施はもちろんのこと、教授、教員、事務職員にもパワハラ、セクハラ防止等の研修を行うなど、市立大学に関わる全ての方のコンプライアンス意識の向上を図ることが大切だと思う。	中期目標では、教育・研究活動等法人運営全般における倫理規範の遵守の徹底やハラスメントについての啓発及び相談体制の充実・強化に関することを掲げております。 具体的な取り組みについては、中期目標を達成するため、今後市立大学が策定する中期計画の中で定めることとしております。 いただいたご意見を参考にしながら、中期目標の達成に向け努めてまいります。
--	--

3 その他のご意見（8件）

市民意見の概要	市の考え方
・各取組項目が独立しているように見え、項目間の連携や情報共有などによる相乗効果が期待できない。 ・市立大学が他にない独自の取り組みで、他の大学や病院とは差別化できるようにするとよいと思う。 ・名古屋市にある大学であるため、名古屋市の知名度を上げたり、市民のために教育や研究を進めてほしい。そういった事がもう少し具体的に書いてあると、より分かりやすいように思う。	具体的な取り組みについては、中期目標を達成するため、今後市立大学が策定する中期計画の中で定めることとしております。 いただいたご意見を参考にしながら、中期目標の達成に向け努めてまいります。
・目標と取り組みが混在しているため、明確に区別した方が良い。 ・現状の把握とそれらの課題・要因が明確になっていないため、目標内容が適正か判断できない。 ・今後、市立大学が学生や社会から必要とされるためにも、重要な視点だと思うので目標が達成されるように頑張してほしい。	いただいたご意見も今後の参考とさせていただきます。

•市立大学の食堂は昼営業のみで、メニューもほとんど変わらず、新しいメニューがあるときはそのメニューのレーンだけ混雑し、不便が多いように感じる。	いただきましたご意見は、大学にもお伝えし、今後の参考とさせていただきます。
•市立大学の事務の窓口は、どこも立ちながらの対応で、学生のプライバシーが全く守られていない。並んでいる学生に内容が聞かれてしまう。また、職員の対応に柔軟性がなく、学生に寄り添う対応というより、冷たさまで感じた。	